

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市向陽台児童館
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 31,974人 (前年度比 92.4%) 平成30年度 34,613人 平成29年度 39,124人 平成28年度 32,531人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 40,380 千円 (39,508 千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、サテライト室の担当職員との密接な連携はもとより、学校との細やかな情報交換による育成支援を行うことができている。様々な行事において子どもスタッフの活躍の場を設ける等、子どもの主体的な活動を援助した。「あそびのポケット」では、子どもの興味関心に合わせて内容を工夫し、充実した遊びを通して子どもの健全な心身の発達増進に努めている。乳幼児からつながる地域の子育て支援拠点として、保護者への丁寧な関わりや交流を広げる援助を行っている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

魅力ある活動と多くの出会いがある児童館を目指して、一人ひとりの利用者との関係を大切にしながら、地域と連携し活動を提供して参りました。PR活動にも重点を置き、利用者の新規開拓にも努めてきました。

乳幼児親子事業は、特にあかちゃんの児童館デビューに力を入れ、定例行事「ひよこちゃん」には、年間通して多くの参加が得られました。定例行事や幼児クラブ、ママの自主企画「ママのハッピープラン」の活動では、親子同士の交流を大切にし、お友だち作りを支援しています。また、乳幼児専用の遊び場「集会室」「すまいるテラス」の環境も整え、いつでも安心して利用していただけるようになりました。

小学生事業は、「あそびのポケット」やダンス活動、スタッフ活動等を通して、多様な遊びや異年齢を含む多くの友だちとの交流を提供して参りました。また、プレ小学生へのPRを目的に、年長児親子を招いた「青空カレーパーティー」を実施し、親子に小学生や高校生、ボランティアさんとの交流等、児童館の魅力を伝えました。その他、地域と連携した行事や高齢者施設の訪問等の活動を充実させ、新規のボランティア開拓にも努めました。多様な活動、異年齢、異世代との交流は、子どもたちの心豊かな成長につながっています。

中高生事業は、年間を通してボランティア活動を支援し、社会経験の場を多く提供することができ、異年齢、異世代交流の機会にもなっています。

4年目の「地域カルタ制作」では、読み句募集に幅広い年代から応募があり、2作品を採用しました。中学校美術部に絵札制作を、地域の方に読み札制作を依頼するなど、地域の様々な人たちが関わって制作が進められています。

地域の多大なご協力により充実した活動を提供すると共に、活動を広く地域にPRすることができたと評価しています。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

地域の子育て世代の状況を把握し、より効果的な事業を行えるよう、0歳児からの児童館利用者の増加を図るため、地域の施設や産婦人科にチラシを置くなど新たな広報活動に積極的に取り組んだ。子育て中の母親達が行事を企画・運営する「ママのハッピープラン」の自主的な活動を支援するほか、すまいるテラスでの乳幼児親子向けイベント「夕涼み会」の開催、子育て支援クラブとの共催行事「ママのためのお茶席」など、保護者同士の交流支援や子育て世代のニーズに応じた行事の提供に努め、利用者にも好評を得ている。

高学年子どもスタッフや「ダンスチーム」、「カラーガードチーム」の活動への参加、地域の夏祭りに向けた地域住民との「盆踊り」への取り組みなど、地域と交流を図るとともに、子ども達の意欲や社会性の育成に取り組んだ。異年齢児交流として、年間を通して泉松陵高校ボランティアと児童との交流や日常的な中学生の利用があり、地域の保育園との定期的な交流では、児童クラブの子どもたちが遊びを考案し披露することで、自主性や自己肯定感を育てた。また、年長児を対象とした「青空カレーパーティー」を開催するなど、地域における子ども達の居場所として、児童館事業の周知に努めた。

地域の自然や歴史に親しむ「地域カルタ制作」や「地域探検・ホテル観察会」のほか、「とり+かえっこ」や児童館まつり等の行事も継続し、地域との協力・連携のもと事業に取り組んだ。小学生や子どもスタッフのみならず、中高生のボランティアに対しても、行事を通して多くの交流や経験の場を提供し、地域社会の一員としての自覚や社会性を育てている。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課